

ゆうあいの里



“〇〇の秋”と題して

秋と言えばいろんな形容詞が付く季節でもありますね。例えば「食欲の秋」（→栗？柿？）「スポーツの秋」などなど。今回はゆうあいの里に訪れた秋についてご紹介します。

「芸術の秋」・・・今年も大竹ふくし祭りに出展をしました。例年通り書道・陶芸クラブの作品に加えて、春に完成した“里の桜”、続けて梅雨時期に制作にとりかかった（ただし、完成したのは秋になってから。。。）あじさいの花です。去年より作品数が増え、展示スペースが足りなくて無理を言って増設していただきました。桜とあじさいは時間のある時に集まっておしゃべりしながら作っています。入居者が集まってひとつの絵を作るのは長い間なかったということもあり、できあがった絵を見て充実感いっぱいです。



10月は、なかはま保育所・玖波小学校・大竹高校と3か所からかわいくて若い（笑）方々の訪問がありました。こじつけて「交流の秋」で紹介しましょうか。

玖波小学校3年生さんの踊り。きびきびとした動きがそろっています。なかはま保育所園児さんの踊り。小学生のみなさんとは身体の大きさが違いますね。

終了後肩たたきのサービスなどあり、園児さんを見て顔が緩んできます。「孫。。。いや、ひ孫の歳じゃね。。。」目を細めて顔を見つめあい。
(高野 千春)

